



善なるものについて 巡る季節、大自然の恵み感謝して

全世帯の20%に届く フリーメディアに

『地域みっちゃん生活情報誌』は総発行部数11,643,488部(2022年10月1日現在)です。岐阜県可児市・加茂郡で発行する地域みっちゃん生活情報誌『かにさんくらぶ』(75,040部)は、この10月号で328号を数えます。創刊から27年と4カ月、この歳月を経ても色褪せず、毎月毎月、新鮮な情報を掲載しています。『かにさんくらぶ』は全国31都道府県142誌の原点としての責務を果たし、地域になくてはならないフリーメディアに成長しています。有難いことであります。

その後、岐阜県高山市で2誌目、『月刊SARUBOBO』(56,000部)を発行、今号で319号になりました。高山市は日本一、面積の広い市であります。古い街並みがある市の中心部から、乗鞍岳の中腹にある民家まで配布してきました。

上高地に近い奥飛騨の民家を訪ねた折、その家の仏間に『月刊SARUBOBO』が供えてあり、私は驚きました。「高山の街に暮らす孫の写真が載ってるぞ」と、当主は笑顔で話してくれました。高山市内まではバスで1時間半。この老夫婦が暮らす飛騨の山間に地域みっちゃん生活情報誌『月刊SARUBOBO』は着実に根差し、息づいていることを実感しました。

そして改めて、地域愛をもって情報誌づくりに励んでくれる従業員各位に、雪に閉ざされた寒冷地にも雪を踏み分けて、『月刊SARUBOBO』を一軒一軒配布してくれる仲間、深く感謝しました。地域の生活情報を丁寧に編集し、そこに暮らす人々の元気のために手配りする「動機」に間違いはない、「善」であることを確信しました。

私は日本全国に情報誌をお届けしたいという思いで、まずは100万部の発行を目標にしました。2009年、100万部に到達。その次は500万部を目指し、2012年には同じ志をもつ企業を募るVC(ボランタリーチェーン)をスタート。2015年、500万部に到達しました。そこで次に目標としたのが1,000万部です。ネットの台頭により紙の時代は終わったのではないかと、そんな批判にも晒されましたが、届いた情報誌によって読者の生活が豊かになる以上、この道に間違いはないと、ネットとの対立ではなく共存・共創の道を模索。さらに同業他社の共感を得て、昨年7月、1,000万部を突破。10月号では日本全国5,000万世帯の約20%のご家庭にお届けする紙のフリーメディアになりました。

紀伊國屋書店の 使命感に感動

全国の書店数をご存じですか。2003年度には2万880店舗ありました。20年経ったいま、1万店舗を切ろうとしています。半数以下です。全国1,747の自治体で、書店がない町村が2割を超えました。私が住む岐阜市でも路面店は次々に撤退、廃業しています。同時に紙の出版物は1996年の2兆6,564億円をピークに、2021年には1兆2,080億円と半減。出版業界も書店も先の見えない冬の時代だと言われています。

そんな厳しさのなか、書籍店最大手の紀伊國屋書店は、2027年の創業100周年までに国内外の店舗を現在の2倍、200店舗に増やす計画を発表しました。「何とかしないとけない、使命感があります」と紀伊國屋書店の役員は述べます。



故・稲盛和夫氏を悼む イラスト:波岡浩太

紀伊國屋の大義は明確です。「タッチポイントとしての書店がないと、日本人はますます本を読まなくなる」。書店の減少により読書離れを危惧しています。紀伊國屋書店も企業ですから、採算性を度外視した出店計画はあり得ません。

近年、若い世代の国語力が低下しています。OECDの調査では、日本は数学・科学分野では上位ですが、読解力の分野では大きく順位を落としています。ネットで本を購入し、端末で電子書籍を読む時代ですが、大義をもち、100周年で2倍の店舗を増やすという紀伊國屋書店のチャレンジ精神に拍手を送りたいと思います。

動機善なりや 私心なかりしか

8月24日、京セラ・第二電電(現KDDI)創業者、日本航空名誉会長の稲盛和夫氏が逝去されました。第二電電を設立し、電気通信事業へ参入する際、「動機善なりや、私心なかりしか」と自問した稲盛氏の言葉は、あまりにも有名です。動機が善であり、実行過程が善であれば、結果は問う必要はない。必ず成功するという信念を表しています。

私はこの言葉を教えとし、自らの血肉にした

いと実践してきました。氏に心より感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

稲盛氏は、動機が利己的であつたり邪な思いであつたら、どんなに頑張っても事はうまくいかない。「善」なるものは動機に左右されると解きます。動機とは物事を決めるときの「土台」ともいべきものです。強固な土台であれば立派な家が建つが、貧弱な土台にはいくら豪華な家を建てても揺らぐように、動機が不純であれば何事もうまくはいかない。動機が「善」を決めると。

では、その動機が決める「善」とは何でしょうか。究極を申せば、「自分と自分の周りの人々の幸せのために」する行為が「善」だと思います。それは自分と他人を共に幸せにする行為であり、自分と他人とのより深い関係を築きながら進む自己実現(自分を高め、自分の可能性を開花させること)の道だと思っています。

何が善なるもので、何が悪なるものか。見極めるのは容易ではありません。なぜなら現実には絶対的ではなく、刻々と変化する相対的なものであるからです。人間も然りであります。善なる側面と悪なる側面の両方を持ち合わせています。一面だけを捉えて、あなたは善い、あなたは悪いと裁定するのは間違いです。

人は誰もが善人であり偽善者であります。私心はどこかに潜んでおり、簡単に捨て切れるものではありません。自分と自分の周りの人々の「幸せ」を願うとき、「自分」と断わり、また「自分の周りの人々」と他を分けているところに、「私心なかりしか」と問い続ける。これが善なる生き方ではないか。問いを重ね、大自然の摂理に反せず、自分の周りが幸せになるように「善」を尽くすことが、「私心なかりし」生き方だと思っています。我が社は1978年5月1日、中日新聞社岐阜県版取り扱い代理店として創立しました。今期で45期を迎えました。社是は「飲水不忘掘井人」です。物事にはすべて源があり、現在があります。物事の大概は苦難の連続であります。現実をあるがままに受け入れられるのは源を思う心です。源を忘れなければ、あらゆる苦難は時と共に解決すると信じています。

1,000万部を突破したフリーメディア「地域みっちゃん生活情報誌」の事業。私は「日本を元気にする」ために、不可欠な事業であると確信しています。次なる目標は日本全国全世帯、機は熟しています。「自分と自分の周りの人々の幸せ」のために、この事業を推し進めます。創業50周年を迎える2027年には、5,000万部発行を達成したい。

抜けるような秋の空を、若い仲間たちと「上機嫌」で見上げています。

KEY NEWS

全国約1,164万部の発行網だから選ばれる 全戸配布で行政広報を支援

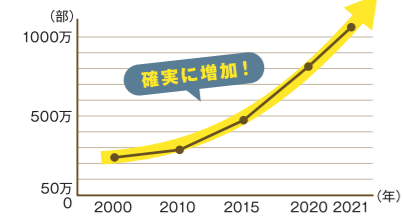
決められた発行エリアの各ご家庭のポストまで、1軒1軒、手配りで届ける『地域みっちゃん生活情報誌』は、その確実な発行体制によって多方面から絶大な信頼を獲得しています。地方行政の掲載事例も多く、地域住民に「必ず届けなければいけない」情報の発信には、1,000万部以上の発行網だけがなせる業として、当グループの情報誌が浸透しています。

「伝えなくてはいけない」を解決 広報と相性抜群の情報誌

当グループがVC各社とともに発行する『地域みっちゃん生活情報誌』は2009年に100万部を突破すると、2015年に500万部、2021年に1,000万部を達成。初号の『かにさんくらぶ』を32,000部で創刊以来、約30年で実に363倍へと規模を拡大してまいりました。『地域みっちゃん生活情報誌』の特徴は、決められたエリアに確実に配布することです。

決められた発行エリアでの世帯到達率はぐんぐんと伸び、暮らしに欠かせない情報源として、高い役割を果たしています。これまで「圧倒的到達率」を大きな魅力として各企業からさまざまな広告に活用いただいています。行政からの信頼も厚く、広報のほかコロナ関連や健診、防災、子育てなど、さまざまな分野での掲載実績を得ています。

「地域みっちゃん生活情報誌」 発行部数の推移



行政が広報に当社の情報誌を活用いただく大きな目的は、「伝えなくてはいけない情報」が確実に住民に届くことです。

日本広報協会によると、住民が望んでいる広報情報のニーズランキングは、1位/健康・福祉・医療介護、2位/防犯・防災、3位/環境・ゴミ・リサイクル、4位/観光、5位/子育て(教育・学校)と続きます。すべてが生活情

報であり、『地域みっちゃん生活情報誌』の読者層とも合致しています。



岐阜県広報 岐阜県からのお知らせ・ミナモト通信



滋賀県長浜市「botejako club」長浜市長コラム「長浜はま〜る」・市内のほっとな情報を届ける「写真ではま〜る長浜」

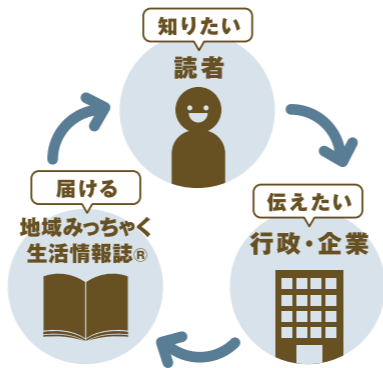
厳格な掲載基準の設定で安全 首長コラムで毎月住民と繋がる

当グループが発行する情報誌には、厳格な掲載基準・表記基準が設けられています。幅広い世代が手に取る媒体であることから、全業種共通基準と業種ごとの基準を置き、安全かつ安心な発行を維持しています。各種法規に則った基準はもちろん、当社独自のルールも遵守することで信頼は強固なものに。そのため、企業はもちろん、行政にとっても掲載による不利益は一切ありません。知事や市長などが政策を発表したり毎月のコラムを寄せる場としても活用。「地元」に多くの読者がいる情報誌でのメッセージは、ダイレクトに伝わ

主なエリアの世帯到達率

岐阜県	▶ 738,890部	89.2%
愛知県	▶ 2,404,705部	68.4%
三重県	▶ 623,969部	80.4%
滋賀県	▶ 458,291部	76.1%
鳥取県	▶ 160,900部	69.0%
山形県	▶ 254,000部	57.7%

圧倒的な到達率だから
広報・広告効果が高い!



るのでありがたい」と各首長や広報担当者から高い評価を得ています。

このように『地域みっちゃん生活情報誌』は圧倒的な発行部数、世帯到達率、厳格な掲載基準を強みに、他には真似できない行政実績を蓄積。特にコロナ禍以降、徹底した情報発信に迫られた行政からは、多くの需要をいただきました。

今後も編集ノウハウと合わせ、地方にとって唯一無二の媒体として期待に応えていきます。

11,643,488部

※VECエリア含む ※2022年9月末現在 ※世帯到達率は媒体配布部数を9月20日現在の各県が公表している世帯数で割り算 ※一部イラストレーター発行に伴い、8月に流通していないものが含まれます。

Table listing magazine titles and circulation numbers for various regions including Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kansai, Chugoku, and Kyushu.

Table listing magazine titles and circulation numbers for specific cities and prefectures like Iwate, Yamagata, Fukushima, and Aomori.

Table listing magazine titles and circulation numbers for prefectures such as Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, and Shiga.

Table listing magazine titles and circulation numbers for the prefecture of Aichi, including titles like mydo and ふじえへら.

Table listing magazine titles and circulation numbers for the prefecture of Mie, including titles like 三重県 and びんご.

Table listing magazine titles and circulation numbers for the prefecture of Nara, including titles like 奈良県 and まいづか.

読者の声: Reader testimonials and feedback, including a story about a dog and a reader's appreciation for local information.

掲載レスポンス: Responses from advertisers, such as 'Kira Kira Club' and 'Gassai', highlighting the effectiveness of their ads.

Advertisement for the 'フリモ' (Frimo) app, featuring a QR code, download statistics (265,560 downloads), and a list of features.

空港施設内なぞときスタンプラリーでにぎわい創出

イベント企画

親子の笑顔が溢れ、にぎわう空港内施設

この夏、当社では中部国際空港セントレアの夏休みの親子向けイベント「なぞときスタンプラリー めざせキッズパイロット」のお手伝いをさせていただきました。待ちに待った3年ぶりに行動制限のない夏休み。旅行で空港を利用する人はもちろん、遊びを目的に多くの人に来港いただけるよう、「空港施設ならではのスポットや、キャラクター『セントレアフレンズ』の魅力を発信しながら、子どもも大人もワクワクする企画をご提案したい」と考えました。企画制作は、日頃から親子向け施策に携わる「キッズフリモ」制作チームをはじめ、謎解きイベント、ウェブ、媒体担当と、オール中広で取り組みました。

企画本体は未就学児から小学校高学年まで、家族みんなで楽しめるよう、「スタンプラリー」と「なぞとき」の2段階で構成。難易度を選べる構成に、ご好評をいただきました。夏休み期間中は、多くの人にご参加いただき、空港内施設には参加賞のパイロットサンバイザーを被り、スタンプラリーブックを片手にめぐる子どもの笑顔が溢れていました。ご好評をいただき10月31日まで開催期間を延長しておりますので、ぜひこの機会に中部国際空港へお出かけください。 (名古屋支社・尾関)



県庁所在地・津市の駅周辺から元気を発信!

地域みっちゃく生活情報誌

「駅ビル」の魅力を再発見しませんか?

三重県内で四日市市に次いで飲食店の数が多い津市(総務省による統計ダッシュボード調べ)。しかしながら新型コロナウイルスの影響により、業態変更や休業・閉業を余儀なくされる店舗が少なくありませんでした。特に市の玄関口でもある津駅の周辺のにぎわいが減ったと言われています。リモートワークが主流となり、電車を利用する人が減ったことも、原因のひとつのようです。津駅前には人流を取り戻すお手伝いを、「つうび〜す」としてできないものだろうかと考え、9月号で「駅ビル」にスポットを当てた特集を実施しました。津駅構内からそのままビルへ入館できる「アスト津」は、グルメ、ファッション、行政サービス、オフィス、ホテルで構成される地下1階、地上18階建ての複合ビルです。地元住民に足を運んでもらえるよう、ファッションやグルメのコンテンツに加え、ホテルには特別に企画してもらった読者限定日帰りプランなどを紹介。モデルを交えた、にぎやかな誌面になりました。この機会に、読者が地元の魅力をあらためて見直すきっかけになればと考えています。 (三重支社・菅)



群馬県2誌10万部でまるごと応援!

地域みっちゃく生活情報誌

群馬クレインサンダーズ誌面ジャック

2021年から太田市を本拠地とするB.LEAGUE所属のプロバスケットボールチーム「群馬クレインサンダーズ」。10月のシーズン開幕の前に「太田フリモ」桐生みどりフリモ9月号では、「群馬クレインサンダーズ誌面ジャック」と題し、2誌でまるごと応援号を企画しました。表紙・巻頭特集のほか、企業・飲食店・美容健康ページなど、各所に選手やマスコットキャラクター「サンダくん」に登場してもらい、どのページを開いてもサンダーズを感じられるページ構成としました。発行後、サンダーズの公式SNSで「#フリモサンダーズジャック」を付けてつぶやこう」と告知いただいたこともあり、「大好きなサンダーズの表紙を見て元気になりました!」「毎月特集してほしい!」などのうれしいコメントでSNS上でも、にぎわいをみせました。新市民体育館「OTA ARENA」の来春完成を目前に、地元スポーツチームと市民が一体となって町が盛り上がっていくのを感じ、情報誌で町を元気にできる仕事ができたと誇りに思います! (群馬支社・新島)



編集室長が村度なしで選んだ、ラーメン厳選5杯

地域みっちゃく生活情報誌

専門誌に負けない一冊を無料で届けたい

昨今、世界情勢の影響で麺の原料、小麦をはじめ、鶏油や輸入飼料に頼っていた豚肉など、あらゆるものの価格が高騰しており、いまだ終わりは見えません。しかし、この状況下でもアイデアと工夫を凝らし、価値あるラーメンを提供してくれている店主の生き様を伝え、地域の皆さんと食べて応援したくなるよう「安城フリモ」と「Cocon club」の巻頭特集にてラーメン企画をそれぞれ実施しました。エリア内でも広告が全く必要ないくらいの人気行列店をはじめ、期待の新店や女性人気のカフェラーメン、知る人ぞ知る居酒屋のメのラーメンなど、年間200杯を食べる私の食歩きノートから営業リストを厳選。「表紙登場+巻頭特集+食うーほん50」のグルメ広告とセットで販売し、行列店の店主間コミュニティに参加させていただき賛同を得て早期完売。味噌・塩・醤油・担々麺など味のジャンルが一店舗も重ならないよう、その店舗のスペシャリティのみを紹介する趣旨も賛同いただけた理由の一つでした。発行日と同じスケジュールで、各出版社の年に一度のラーメン専門誌が発売されましたが、それにも負けない内容で、しかも地域読者は無料で手に入る一冊となっています。 (愛知支社・伊藤)



VC TOPICS

愛知県豊橋市・豊川市・田原市・新城市『はなまるプラス』株式会社プライズメント

東三河の特産品を使った商品アイデアソン開催

愛知県の農商工連携推進事業の一環として開催された「東三河の特産品を使った商品アイデアソン」。地元を盛り上げたいと、食品加工や農家、貿易会社、大学生、海外からの移住者など、さまざまなバックグラウンドの参加者が集まり、商品開発に取り組みました。当日は自由な発想で実験などが行われ、各

チームから目の離せないアイデアが生まれました。最優秀賞にノミネートされたチームの商品をはじめ、2022年12月末までに10商品以上を世に送り出すべく、行政と参加者が一丸となって、この企画がスタートを切りました。実際に商品が店頭に並ぶのが今から待ち遠しいです。



▲2022年8月号掲載誌面

CHUCO CLUB

高山市 田中新市長インタビュー

『月刊SARUBOBO』(岐阜県飛騨エリア)10月号では、田中明新高山市長のインタビューを巻頭特集で掲載しました。田中市長は高山市生まれの61歳。大学時代は1年間、福祉国家であるデンマークに留学し、卒業後は東京の商社で仕事をしながら英語をマスター。帰郷してからは高山市役所に入職し、退職までの34年間は、地域振興や海外戦略などで幅広く実績を残されました。インタビューのテーマは「これからの高山市のビジョン」について。観光が基盤産業である高山市はコロナ禍で大きな痛手を受けました。そこからの脱却や、子育て、医療、福祉など市長の熱い思いが詰まった記事になりました。



▲田中明新市長(左)

(岐阜支社・都竹)

「どまつり」ファイナルコンテスト審査員参加



今年で24回目。過去2年は、オンライン開催など工夫を凝らし継続してきました。今年はいよいよリアルとオンライン(テレどまつり)の併用で開催が叶い、延べ7日、2週間にわたって過去最多となる563チームが参加し、熱い演舞を披露しました。

中広は『地域みっちゃく生活情報誌』で開催告知をするとともに、大島齊社長が両ファイナルコンテストで審査員を務めました。来年は25周年、さらなる飛躍を応援します。

(業務執行戦略室・岡本)

新卒者の今 -2022.vol.5-

GiFUTO編集室に配属となり、初めて岐阜市に来てから半年が経ちました。はじめは、知らない土地の情報誌を作る不安もありましたが、「GiFUTO」の一員として、いろんな方にお会いするうちに「もっと知りたい」というワクワクの方が大きくなりました。まだまだ至らない点は多々ありますが、どんな時も温かく教えてください。編集室をはじめとする社内の皆さん、地域の皆さんに感謝しつつ励んでいます。担当エリアをもっと元気にできるように、小さなことからできることを積み重ねてまいります。



(岐阜支社・山下)

CHUCO CSR 当社では、地域社会への貢献に積極的に取り組んでいます

花火大会翌日の会場清掃実施

いせさき花火大会が3年ぶりに開催され、「元気と笑顔と希望」を届けてくれました。翌日、「伊勢崎フリモ」・「太田フリモ」・「桐生みどりフリモ」スタッフと子どもたちで、観覧エリアを清掃。小雨の影響か、レジャーシートやイスなどの放置や大量の可燃ゴミのほか、缶などの不燃物や大型の廃棄物も回収しました。例年はゴミが少量の印象でしたが、2年間のイベント中止で観覧マナーが変わってしまい、残念に思いました。今後は清掃だけでなく、啓発活動も含めたCSRで街に恩返しをしていきます。



(群馬支社・新島)

営業拠点移転のお知らせ

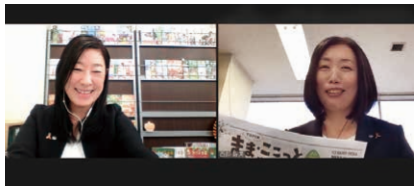
当社は東京支社を右記の通り移転しましたので、お知らせします。

住 所	連絡先
〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル902号室	TEL 03-6910-2940 FAX 03-6910-2941



部署だより NO.105

営業本部 イノベーション事業部 『ままこっこ』編集室



▲『ままこっこ』編集室スタッフ

当社は、現在『ままこっこ』を群馬版と岐阜版の2誌発行しています。4月には千葉版がVCとして加わり、3県で195,000部となりました。また、鳥取では『ままこっこ』の編集ノウハウを生かし、『地域みっちゃく生活情報誌』のセンター版としても企画を展開しています。

編集室は群馬県と岐阜県にそれぞれ拠点を置き、地域性を重視した誌面を構成しています。『ままこっこ』は、子育て世代をターゲットとし、生活やライフスタイル、育児に関する読み応えのあるコンテンツで、子育て情報を発信。昨今は少子高齢化により子どもの数は減少傾向にありますが、共働きの子育て世帯(パワーカップル)が増加しています。子どもや家庭のための支出割合は増加傾向で、マーケットは拡大。そのため、家計を握るキーパーソンに訴求できるメディアとして、住宅・保険・車・写真館・子ども用品・おけいこなどの企業から定期的にご出稿いただいております。

「子育てをすげらい」と言われる日本ですが、「日々の子育てがちょっと楽しくなる」、「気持ち軽くなる」。そんな、読者に寄り添った情報を発信することで、今後も子育て世代を応援してまいります。

(ままこっこ編集室・結城)

編集後記

広報になり驚いたことのひとつに、新聞は取材を受けても、校正確認が来ない点が挙げられます。これは記者が第三者として発信することに重きをおいているからで、それ故、記事の信頼度が増すと考えられているそうです。「ここは変わったから削除で」など、広告では普通に行われている修正はできないため、確実性のある情報を正しく、かつ事実と思いは分け誤解を生まないよう、伝える必要があります。取材を受けて改めて、自らの伝えたいことを丁寧に伝えるには、広報などのオウンドメディアや広告が必要だと感じました。当社は広告代理店でありメディア会社です。記者の顔と出稿主の顔、双方を持ち合わせています。今回ご紹介した行政の取り組みはもちろん、今後も記事、広告、営業力、全てを掛け合わせた当社ならではのアプローチで地域へ必要な情報を届けていきます。 (業務執行戦略室・岡本)



地元住民としての感覚を生かし ノウハウとインフラの双方で地域に貢献

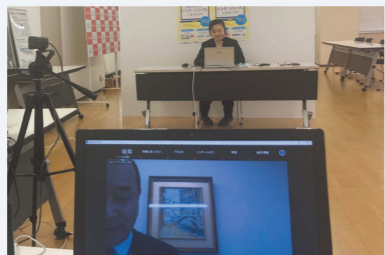
中広は県内や市内で高い世帯到達率を誇る「地域みっちゃく生活情報誌®」を軸に情報インフラ企業となりつつあります。その根幹にあるのは、総合広告代理店としての45年の歴史とノウハウです。地域に必要な情報を読者に届けるインフラとしての役割を果たし、さらに当社の販促・PR・研修等のノウハウを地域のために使っていく。この志で近年、多くの行政案件を担当しています。

ケース1 読者利用促進×導入店舗営業 クライアント 滋賀県長浜市

コロナ禍で一気に加速した電子マネーの導入。当社でも各情報誌で啓発業務を請け負いました。滋賀県長浜市・米原市からは、市内での世帯到達率が9割にのぼる「botejako club」で、電子マネー利用額還元キャンペーンのPRを受託。地元における消費喚起に取り組みました。同時に、当社と取引のある全国数万社に対して電子マネーの導入を案内し、読者が電子マネーを利用できる店舗の増加に努めました。

電子マネーのような新しいサービスは、ユーザーにどれだけ利点を伝えても、実際に利用できる店舗が身近になれば意味がありません。各エリアに編集室を構え、営業職が足を使って地元商店とコミュニケーションをとれる環境にある当社だからこそ、両側面からのアプローチが叶いました。

当社では、この2つのノウハウを活用し、リアル開催の中止を余儀なくされたリクルートイベントのオンライン化を受託しました。イベント企画・PR・運営、機材や配信環境の手配まで一貫して請け負うことで、コロナ禍でも採用を止めることなく、地域の経済を下支えする人材確保に一役買いました。



オール岐阜・企業フェス交流イベントスタジオ

ケース3 DX×問い合わせ窓口×加盟店舗営業 クライアント 岐阜県商店街振興組合連合会

この事業では、コロナ禍においても安全・迅速にプレミアム商品券の購入を県民に促進することを念頭に、クラウドファンディングを用いた企画を展開しました。DX手法を地



情報誌に掲載したQRコードからクラウドファンディングサイトへ

方行政で用いる場合、「知らない」「わからない」という不安に対し住民からの相談やクレーム発生が予想されます。多くは、相談・クレームの対応窓口を専門のコールセンターなどに委託しますが、本案件では、当社が社内

に窓口を設置し、対応にあたりました。情報誌に告知掲載すると、問い合わせダイヤルには多くのコールが寄せられました。しかし、地域のことを理解している、慣れ親しんだ情報誌の発行会社が対応している安心

感から、若年層に限らず高齢層からの購入も多くいただくことができました。パソコンの使い方からレクチャーするといったケースもありましたが、地域のDX化に貢献できたことと自負しています。

ケース4 企画×インターン×アプリ クライアント 岐阜県大垣市都市計画部

「水都おおがき古地図デジタルスタンプラリー事業」を、大垣市と大垣女子短期大学、中広の産学官連携企画で取り組みました。

当社の「フリモ」アプリのスタンプラリー機能を使い、大垣城下の古地図を手掛かりにスポットを探してゴールを目指すイベントです。大垣女子短期大学の学生も企画会議から参加。これに合わせて、当社のクリエイティブ部が学生インターンを受け入れ、ロゴ・キャラクター制作についてレクチャーいたしました。参加を促すだけでなく、それに必要なノウハウのサポートまですることで、安心して参加できたと、学生からも好評でした。



インターンの様子

「フリモ」アプリ デジタルスタンプラリー

地域住民が望むものを適切に届ける

国内を見渡せば、個々の業界や施策に単体のノウハウをもつ企業は数多くあります。しかし、当社は複数のノウハウをもち合わせ、それぞれの地域に従業員が住み、生活しています。

その土地をよく知る当社がご提案する施策は、より地域に寄り添った内容です。各発行エリアがもつ地域課題と、これからも真摯に向き合い解決へと繋げてまいります。

*QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

会社概要	商号	株式会社 中広 (CHUGO CO., LTD.)	東証・名証 証券コード [2139]	
	創業	1978年		
	資本金	4億430万円		
	従業員	451名(2022年9月末現在)	グループ全体 590名	
事業内容	フリーマガジン事業	イベント・セミナー事業		
	セールスプロモーション事業	通信販売事業		
	クロスメディア事業	VC事業(ボランティア・チェーン)		
理念	広告業を通して「地域社会への貢献」	(地方創生に!)		
社是	人が命・人が宝・人が財産	(社員が輝く組織に!)		
	機会損失の排除	(モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)		
社訓	飲水不忘掘井人	(感謝の心で!)		
グループ会社	株式会社アド通信社西部本社	http://www.adtsu.co.jp		
	株式会社中広メディアソリューションズ	https://chuco-ms.co.jp		
	株式会社ケイ・クリエイト	http://www.k-create.co.jp		
	株式会社ケイビーエス	http://www.post-kps.co.jp		

第45期 基本方針
スローガン 愚直なまでに報恩謝徳の精神で
テーマ DX時代を駆け抜けろ!

オフィシャル運営サイト

- 中広企業サイト
- 中広採用サイト
- フリモ(WEB)
- 講演会インフォ
- わくわく生活(楽天)他
- フリモール
- フリモールブログ
- 販促blog
- HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見直し)
- ハッピーメディア®児童虐待防止運動
- 日本地域メディアネットワーク(JLMN)

公式アカウント

- Facebook
- YouTube
- Instagram
- Twitter

加加盟団体

- JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会

リンク集はこちら

次世代育成支援対策推進法に基づく「くろみん」認定企業です

女性活躍推進法に基づく「えるほし」認定企業です

2017年取得

2016年取得

営業拠点

<p>■ 本社 岐阜本社 岐阜市東興町27</p> <p>名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F</p> <p>■ 営業本部 フリーマガジン事業部 《北海道》 SORA編集室 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158</p> <p>《宮城県》 とみいず!編集室 仙台市泉区中央1-3-37 2F TEL.022-341-4809</p> <p>なうてい!編集室 名取市手倉田字諏訪532-1 1F西 TEL.022-797-8541</p> <p>さきっ!編集室 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792</p> <p>《群馬県》 高崎フリモ 前橋フリモ編集室 高崎市新保町139-1 2F [高崎]TEL.027-353-8714 [前橋]TEL.027-353-8713</p> <p>広城営業部 TEL.027-353-8714</p> <p>玉村フリモ・伊勢崎フリモ 太田フリモ編集室 伊勢崎市茂呂町2-35-22 6F TEL.0270-61-6117</p> <p>桐生みどりフリモ編集室 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635</p>	<p>きらめきくらぶ編集室 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622</p> <p>《岐阜県》 GIFU編集室 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512</p> <p>SARUBOBO編集室 高山市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579</p> <p>Wao!Club・mintoup はしまる編集室 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!]TEL.0584-75-1960 [mintoup]TEL.0584-77-4088 [はしまる]TEL.0584-71-6226</p> <p>GUJOプラス編集室 郡上市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655</p> <p>たんどんくらぶ編集室 各務原市那加栄町14-1 TEL.058-380-6066</p> <p>きらくらぶ編集室 関市山王通1-6-3 TEL.0575-24-4334</p> <p>かにさんくらぶ編集室 可児市今渡字町1595-190 TEL.0574-25-7009</p> <p>おりべくらぶ編集室 多治見市太平町4-38 TEL.0572-21-2626</p> <p>らせるくらぶ編集室 土岐市東山町1-4 3F TEL.0572-55-2033</p> <p>maika club編集室 中津川市上金1231-1 TEL.0573-62-2522</p> <p>《愛知県》 NAGOYA FURIMO 各編集室 [中村・中川・港区版] 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111</p> <p>[中央版・西版版・北版版・ 名東版・天白版・南区版] 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602</p> <p>《福井県》 福井フリモ編集室 福井市大蔵寺2-9-1 7F TEL.0776-97-9552</p>	<p>守山フリモ アサヒトセト・ひまわりくらぶ編集室 尾張旭市東本郷地ヶ原町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 [アサヒトセト]TEL.0561-42-6981 [ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971</p> <p>ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ かなうくらぶ編集室 愛知郡東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850 [さんごくらぶ]TEL.0561-42-4885 [かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855</p> <p>Cocoon club・ちるくらぶ 北知多フリモ・西尾フリモ 安城フリモ編集室 知多郡東浦町大字緒川字下沙田17-1 [Cocoon club・ちるくらぶ・ 西尾フリモ・安城フリモ] TEL.0562-85-1077 [北知多フリモ] TEL.0562-85-1078</p> <p>リブル倶楽部編集室 犬山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111</p> <p>岡崎フリモ編集室 岡崎市明大寺町寺東9-1 5F TEL.0564-83-7121</p> <p>セールスプロモーション部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139</p>	<p>ふあみんぐくらぶ編集室 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623</p> <p>イセクラブ編集室 伊勢市岩洲3-6-5 2F TEL.0596-63-8282</p> <p>からっと倶楽部編集室 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100</p> <p>さみっくらぶ編集室 志摩市阿児町鶴方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201</p> <p>《滋賀県》 ぼてじゃこ倶楽部編集室 長浜市宮司町1161-7 2F TEL.0749-68-2577</p> <p>こんきくらぶ編集室 彦根市長曾根町9-22 1F TEL.0749-26-0555</p> <p>オウテッククラブ編集室 近江八幡市坂宮町289 3F TEL.0748-36-1148</p> <p>湖南フリモ・甲斐フリモ編集室 滋賀/福井広城営業部 栗東市手原5-6-19 TEL.077-596-3335</p> <p>びわこ編集室 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911</p> <p>《奈良県》 かほくらぶ編集室 橿原市基本町260-1 1F TEL.0744-48-0606</p> <p>《和歌山県》 まいな編集室 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-677630</p> <p>《鳥取県》 つばさ編集室 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446</p> <p>くらくらぶ編集室 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510</p>	<p>こはくらぶ編集室 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400</p> <p>《福岡県》 マイタウン西新・姪浜編集室 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250</p> <p>マイタウン伊都編集室 糸島市前原中央2-3-60 1F TEL.092-332-8223</p> <p>VC営業部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-214-3325</p> <p>イノベーション事業部 東京支社 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940</p> <p>岐阜ブロック 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511</p> <p>三重ブロック 四日市市森の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562</p> <p>関西ブロック 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911</p> <p>《奈良県》 かほくらぶ編集室 橿原市基本町260-1 1F TEL.0744-48-0606</p> <p>《和歌山県》 まいな編集室 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-677630</p> <p>《鳥取県》 つばさ編集室 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446</p> <p>くらくらぶ編集室 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510</p>	<p>■ 管理本部 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課]TEL.058-246-0285</p> <p>■ グループ会社 株式会社アド通信社西部本社 本社(北九州営業部・業務管理部) 北九州市小倉北区堺町1-3-15 4F TEL.093-551-4581</p> <p>福岡支社 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-2230</p> <p>むなふ・おるね編集室 宗像市土伏1-3-34 1F [むなふ]TEL.0940-39-3672 [おるね]TEL.0940-39-3404</p> <p>月刊TOSS編集室 鳥栖市藤木町2456 1F TEL.0942-50-9619</p> <p>株式会社中広メディアソリューションズ 横浜支所 横浜市中央区真砂町3-38 5F TEL.045-225-9267</p> <p>埼玉支所 さいたま市南区南浦和2-39-16 3F TEL.048-767-8238</p> <p>仙台支所 仙台市若林区新寺1-2-26 5F TEL.022-792-8101</p> <p>株式会社ケイ・クリエイト 本社 一宮市木曾川町里小牧東125 TEL.0586-86-0608</p> <p>東尾張支所 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8331</p> <p>西尾張支所 あま市藤田三田畑19-1 TEL.052-485-6900</p> <p>株式会社ケイビーエス 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8336</p>
---	---	---	---	--	---

*従業員数はグループ会社含む ●…地域みっちゃく生活情報誌®